

## 熱い戦いの記録を刻む

### 国民体育大会陸上競技会記録銘銀除幕式

第71回国民体育大会陸上競技会記録銘銀除幕式は3月30日、北上陸上競技場で行われました。昨年10月、同競技場で熱戦を繰り広げ入賞したアスリートらの栄誉を称えるため、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会北上市実行委員会が同銘銀を作製。大会の種目別の優勝者や県内の入賞者らの名前や記録などが刻まれています。式典に出席した成年男子100m4位入賞の宮崎幸辰さん(22歳・滝沢市)は「銘銀に恥じないパフォーマンスをしていきたい」と決意を語りました。

選手らの名前などが刻まれた銘銀が披露されました



川岸保育園と立花保育園の園児がお遊戯を披露し、開催を祝いました

## 桜の季節の訪れ

### 北上展勝地さくらまつり開幕

北上展勝地さくらまつりは10日、市立公園展勝地で開幕しました。開催式には高橋市長など関係者約40人が出席し、まつりの開催が宣言されました。北上観光コンベンション協会の八重樫守民会長は「今年はライトアップを充実させ、夜桜を楽しんでもらえるようにする」と話しました。また、式に先がけ8日、発足から30周年の節目を迎えた「北上川にこいのぼりを泳がせる会」がこいのぼりを掲揚。約300匹が北上川の空を泳いでいます。同まつりは5月7日(日)まで開催されます。

## 未来へつながる新たな道

### 107号(仮称)梁川トンネル安全祈願祭

一般国道107号(仮称)梁川トンネル築造工事安全祈願祭は3月27日、口内町で行われました。同国道の奥州市江刺区梁川～北上市口内町間は急こう配・急カーブが連続する事故の多発区間であり、被災地復興と生活利便の向上のためにも早急な道路の改良が望まれていました。県南広域振興局の古舘慶之副局長は「トンネルによって被災地の復興支援と地域振興につなげていきたい」とあいさつ。トンネルを含む約2.7kmの区間は31年の供用開始を目指しています。

者くわ入れを行い、工事の安全を祈る関係



者開室式で校歌を歌う児童・生徒たちと保護

## ともに学び、ともに育つ

### 花巻清風支援学校北上みなみ分教室開室式

岩手県立清風支援学校北上みなみ分教室開室式は6日、南小学校で行われました。今まで市内に支援学校はなく、かねてよりあった支援学校設立の要望を受け、県が遠野市に続き分教室小学部を南小学校内に、同中学部を南中学校内に新設。小学部2人、中学部3人で同教室がスタートしました。今後、南小学校、南中学校の児童・生徒との交流授業なども行われる予定です。中学部1年の田頭優樹くんは「ぼくたちは、明るく、強く、たくましく頑張ります」と決意を述べました。

## 青空の下新たにスタート いいとよ保育園落成記念式典

いいとよ保育園落成記念式典は3月30日、同園で行われました。北上市立飯豊保育園が3月をもって60年の歴史に幕を閉じ、4月からは社会福祉法人平和会の運営するいいとよ保育園となり新たにスタートしました。同園の園舎は、白を基調とした温かい雰囲気のある建物となっています。同法人の金澤重俊理事長は「地域に役立ち愛される保育園を目指していく」とあいさつ。同園は市民の要望に応え、病後児保育や一時保育など、さまざまな保育を展開します。

青空の下、園舎前で関係者らによりデーブ・カットが行われました



窯で実際に炭を作り、炭作りの過程について学びました

## 炭焼きを通じて炭を知る 炭焼き体験会

炭焼き体験会(北上市森林組合主催)は3月18日・26日の2日間、憩いの森で行われました。同体験会は毎年2回実施。前回までは1日のみの実施でしたが、炭焼きについてより理解を深めてもらうため、今回は2日間にわたり実施しました。(一社)楽炭代表の千田淳さん、憩いの森管理人の鈴木力(つとむ)さんが参加者に炭焼きを説明しました。参加した合田桂晟(けいせい)くん(二子小2年)は「松ぼっくり、ドングリ、葉っぱを華炭(はなずみ)にした。できるまでワクワクした」と感想を話していました。

## 100年に向けてPR

### 展勝地開園100周年記念ピンバッジお披露目

展勝地開園100周年記念ピンバッジが作製され、19日、みちのく民俗村で披露されました。大正10年に開園した展勝地が平成33年に開園100周年を迎えることから、展勝地開園100周年記念事業準備委員会が市民をはじめ多くの人にPRすることを目的にピンバッジのデザインを公募。デザインが採用された伊藤勝則(かつのり)さん(58歳・一関市)は「展勝地の歴史や背景を踏まえ、100周年をアピールできる凝縮したデザインにした。選ばれてとても光栄」と笑顔で語りました。

採用デザインと伊藤さん。サクラと極楽寺、運搬船がデザインされています



野菜や果物などが並びました。店頭にはさまざまな商品

## 地域のにぎわいの場に さらきの里ふれあいセンターオープン!

さらきの里ふれあいセンターは7日、更木地区にオープンしました。当日は、用意したオープン記念の紅白もち200個が開店直後になくなるなど、地区内外から多くの来場者が訪れました。経営を担う(株)アグリフレンドさらきの山口典男代表取締役は「地元のものを中心にさまざまな商品を揃え、地域の人が集える場所にしていく」と語りました。同センターを訪れた藤本惇(じゆん)さん(71才・二子町)は「更木で働いていてオープンを知った。また足を運ぶと思う」と話していました。